

ビジョン構築の課題解決に向けて

2009年1月19日

宮里大八

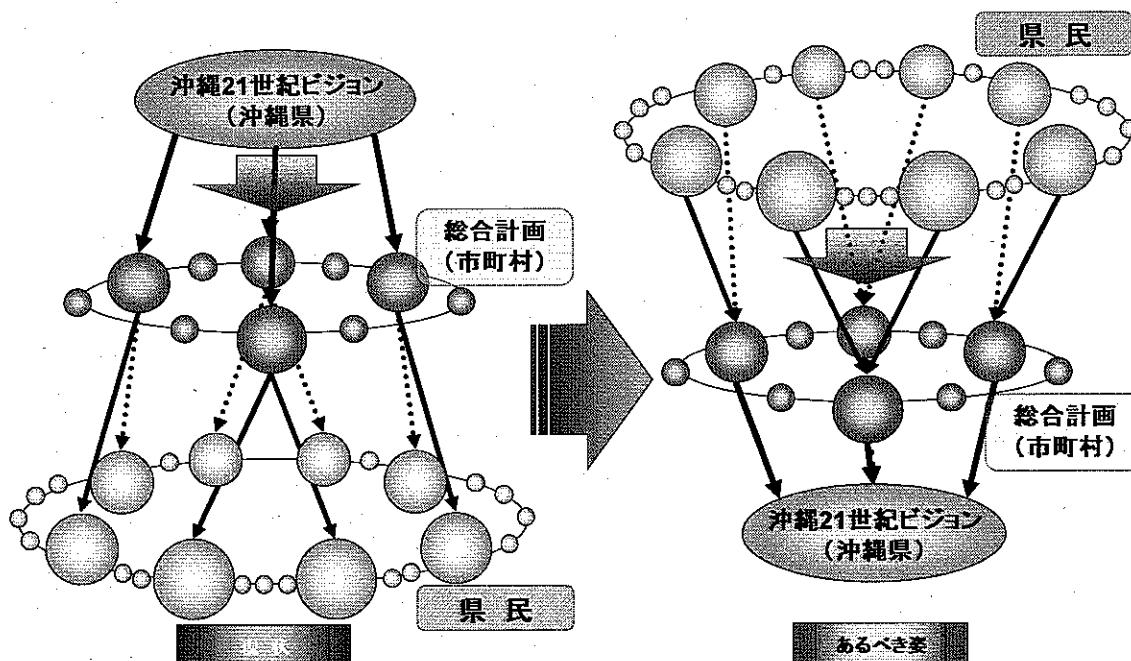
ビジョン構築を実施するために最も重要なことは、「どのようにして理念を県民全体で共有するか」という点である。

現在、100年に一度と言われる世界的な金融危機、ITやインターネットの普及による拡大されるグローバル化、今後10年以内に実施が見込まれている道州制、大規模な米軍基地返還による跡地の利活用など、沖縄を取り巻く環境は刻々と変化している。

そのような中、沖縄21世紀ビジョンでは、2030年の沖縄の未来予想図を描いて、沖縄県、産業界等で議論を重ねている。一方で、市町村や教育機関、県民一人ひとりでは、まだまだ議論が深まっていない状態である。

解決すべき課題は、重点的10項目だけでも、それぞれの分野において深掘りしていく必要があり、県民全体で議論するには、時間がかかるかと思われる。課題解決に向けて、それぞれの分野でワーキンググループをつくり、各地でのシンポジウム・フォーラム、県民へのアンケート等を実施しながら、県民により近い市町村や教育現場での議論を行う必要がある。

以下の図のようにビジョンをトップダウン的に行うのではなく、県民からどのように情報収集するため、市町村の総合計画の担当者からヒアリング、教育現場での課題解決に向けてのワークショップ等をより積極的に行うことで、ビジョン構築のための課題解決が行われる。



図：課題解決に向けてあるべき姿